

「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

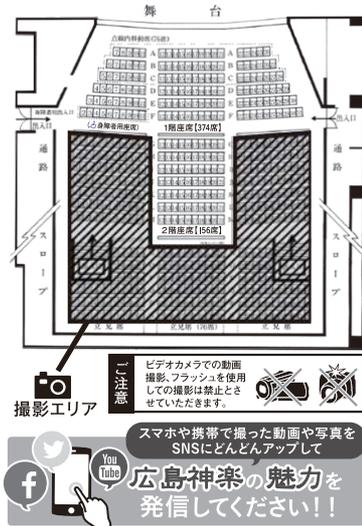
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について

→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



10月4日のタイムスケジュール

出演：鈴張神楽団（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『土蜘蛛』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『枳屋お蓮』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。

本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

すずはりかくらだん

鈴張神楽団プロフィール ～広島市安佐北区～

鈴張神楽団は昭和26年に地元の方によって結成されました。

神楽団結成から、衣装や道具などは全て地元の方々の寄付によって揃え、毎年秋に行われる宮崎神社での秋祭りを中心に、
地元根付いた活動を行っています。

今年になり、若い団員も増え、三度目の世代交代を迎えている今、神楽奉納を通して神楽に息づく先人たちの思いを受け
継ぎ、後世へと伝えていけるよう団員一同精進したいと思います。

第一幕『土蜘蛛』(つちぐも)

大和の国を一望する葛城山(かつらぎざん)に棲み付き、天下を攪乱(かくらん)しようとする土蜘蛛の精魂が、都の守・源頼光(みなもとのらいこう)へ忍び寄ります。

時に頼光は病に伏し、頼光の美しい侍女・胡蝶(こちょう)が典薬(てんやく)の守から薬を持ち帰るところを、土蜘蛛の精魂は襲います。そして、胡蝶になりすますと、頼光に毒薬を薬と偽って飲ませます。

しかし、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸(ひざまる)」で一太刀浴びた土蜘蛛の精魂は葛城山へと逃げ帰ります。

頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王の一人・卜部六郎季武とともに葛城山へ向かい精魂の妖術に立ち向かい、壮絶な戦いの果てに成敗するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 橋原 慎也	源 頼 光 … 吉田 和哉	胡 蝶 … 竹迫 正棋
	小太鼓 … 藪 本 司	卜部季武 … 中山 数人	土蜘蛛の精魂 … 吉田 和哉
	手打鉦 … 沖川 菜祐	坂田金時 … 石川 昌士	
	笛 … 大本 彩		

第二幕『枳屋お蓮』(ますやおれん)

人並み程度の器量に、人一倍の心の優しいお蓮は、親の言葉に従い見も知らぬ石州の庄屋に嫁ぎます。お蓮は夫を思い、添い遂げ、家のため、夫のためと尽くす日々を送っていました。

しかし、いつの時代でも身勝手なのは男…。お蓮の心の内など知らず、夫は、隣の郷に若い娘を囲い、屋敷に居ることも少なくなりました。

「いつかは戻ってきてくれる…」と、夫の行いを一時の気の迷いと信じ、悲しみを忍んできましたが、ついに正気を失い、悲しみは、憎しみへと変わり、お蓮を狂気の道へと誘い込みます。

お蓮は夜な夜な鎮守の杜に「丑の刻詣り」をし、満願の夜、一念通じ化生となり果て、恨みを晴らすため、慕い続けた夫を襲うという物語です。

【出演】	大太鼓 … 橋原 慎也	枳屋九衛門 … 中山 数人	抜 刀 斎 … 石川 昌士
	小太鼓 … 吉田 和哉	枳屋お蓮 … 竹迫 正棋	事代主命 … 石川 昌士
	手打鉦 … 大本 彩		
	笛 … 沖川 菜祐		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。